

# 7月の相談

日 開催日      時 時間      所 場所  
 予 予約受付      問 問い合わせ先

## 法律相談 (要予約) 3日(木)

時 13:30~16:30 所 市役所1階 市民相談室  
 予 1カ月前から 問 市民生活課 ☎22-1116  
 ※内容により、お受けできない場合があります。

## 行政相談 8日(火)、22日(火)

時 9:30~11:30 所 市役所1階 市民相談室  
 問 市民生活課 ☎22-1116

## 司法書士による法律相談 25日(金)

時 14:00~16:00 所 ひまわり会館1階  
 問 市民生活課 ☎22-1116

## 消費生活相談 平日開館

時 9:30~16:30 所 消費生活センター  
 問 消費生活センター ☎24-3251

## 特設人権相談 9日(水)

時 13:30~16:00 所 橘公民館、長生公民館  
 問 人権・男女参画課 ☎22-3094

## 人権相談 22日(火)

時 13:30~16:00 所 ひまわり会館1階  
 問 人権・男女参画課 ☎22-3094

## 女性の生き方なんでも相談 (要予約)

日 1・8・15・22・29日 時 13:00~17:00  
 日 11・25日 時 13:00~16:00  
 所 市民会館2階 相談室 予 随時  
 問 男女共同参画室分室 ☎22-0361

## 年金相談 (要予約) 3日(木)

時 9:00~15:30 所 市商工業振興センター  
 予 1カ月前から電話による完全予約制  
 問 徳島南年金事務所 ☎088-652-1511  
 ※8月の相談日はありません。

## 子育て家庭教育電話相談 (来所相談も可)

日 月曜日~金曜日 (祝日除く) 時 9:00~12:00  
 問 家庭教育支援チーム「育みクラブ」 ☎42-3885

## 心配ごと相談 7日(月)、14日(月)、28日(月)

時 10:00~15:00 所 市民会館内社会福祉協議会  
 問 社会福祉協議会 ☎23-7288

## 7月の休日・夜間診療

軽症でも急いで治療の必要がある場合、次の医療機関で受診できます。

### ●休日昼間 9:00~17:00

日	医療機関名	所在地	問い合わせ先
6日	かじかわ整形外科	日開野町	☎24-5750
13日	阿南医師会中央病院内	宝田町	☎22-1313
20日	瀧内科外科医院	才見町	☎24-9133
21日	阿南医師会中央病院内	宝田町	☎22-1313
27日	殿谷整形外科医院	津乃峰町	☎27-3334

※市内の休日医療機関は、変更される場合がありますので、阿南市医師会 (☎22-1313) までお問い合わせください。

### ●夜間(毎日)の当番 17:00~22:00

市内の医療機関または阿南医師会中央病院内  
 ※阿南市医師会 (☎22-1313) までお問い合わせください。

### ●小児救急医療体制

24時間365日徳島赤十字病院が小児救急患者を受け入れています。(事前の電話連絡は不要です。)

## 7月の市税

- 固定資産税(第2期)
- 国民健康保険税(第2期)  
納期限は、7月31日(休)です。納め忘れのないようにしましょう。
- 市税の口座振替済通知書の送付について  
市県民税(全期)の口座振替済通知書は7月中旬に郵送します。

日曜相談窓口 27日(日) 8:30~17:00 (市役所1階納税課)

市税の納付および分納等の納税(納付)相談を受け付けています。

問い合わせ先 納税課 (☎22-1792) へ

## 7月の平日延長窓口

- 2日(水)・16日(水) 17:15~18:15 市役所本庁1階
- 住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本、身分証明書の交付  
(※時間延長時は、住民異動・印鑑登録・住基カードの発行等は行っていません。)  
市民生活課 (☎22-1116) へ
- 納税相談 納税課 (☎22-1792) へ

## スポーツ施設7月の休館日

スポーツ総合センター(温水プール)	7・14・22・28日
那賀川スポーツセンター	2・9・16・23・30日
羽ノ浦総合国民体育館	7・14・22・28日
羽ノ浦健康スポーツランド	7・14・22・28日
県南部健康運動公園	1・8・15・22・29日

## 人口と世帯数

人口 76,371人 (-22)      世帯数 30,125世帯 (+17)  
 (男) 36,816人 (-11)  
 (女) 39,555人 (-11)

※平成26年5月末日現在  
カッコ内は前月対比

## 編集室の窓

2040年までに自治体の半分が消滅する…。『日本創生会議』の人口減少問題検討分科会の推計が波紋を呼んでいます。これからの人口減少社会にどう対応すべきか。全国広報広聴研究大会でもこの問題が取り上げられ、「特色ある地域資源の魅力を生かした情報発信」の必要性を確認したところです。今月号から、本市の移住・定住施策の一つである「地域医療体制の充実」について、シリーズでお伝えしていきます。(山田)とぼけた表情に、のんびりした雰囲気。その愛らしい仕草を見ているだけで癒される「あななん」。取材先で出会った時もいつもたくさんの子どもたちに囲まれていて、人気ぶりがうかがえます。そういう私もあななんファン。次はどんなグッズが誕生するのか…ひそかに楽しみにしています。(相田)